

兵庫県は全国有数「海苔」の産地

「焼き海苔・味付け海苔」の輸出について

平成26年の神戸港

- ・数量は前年比1.5倍、金額は1.6倍
- ・西歐向けは、数量が2.8倍、金額が2.4倍

神戸税関
私のまちのNATIONAL GATE

兵庫県は、全国でもノリ（スサビノリ）の養殖が盛んで、平成26年の県別収穫量（速報値、農林水産省統計参考）は佐賀県に次ぐ第2位です。これは、後で紹介しますが、兵庫県沖の瀬戸内海沿岸がノリの養殖に適しているからです。

ノリは収穫後、水洗い、乾燥、選別等の加工工程を経て「乾（ほし）海苔」ができあがります。この乾海苔に火を入れると「焼き海苔」、焼き海苔に醤油、砂糖、梅、わさびなど色々な味付けをすると「味付け海苔」となります。

塩を手に取り、ごはんをふわっと握って、香ばしい海苔を巻いて頂く「おにぎり」は、シンプルながらこれぞ日本の味と言っても過言ではないですね。

海外で海苔はどのように食べられているのでしょうか。今回は、和食ブームに乗って消費が伸びている日本の伝統の味「焼き海苔・味付け海苔」の輸出について取り上げました。

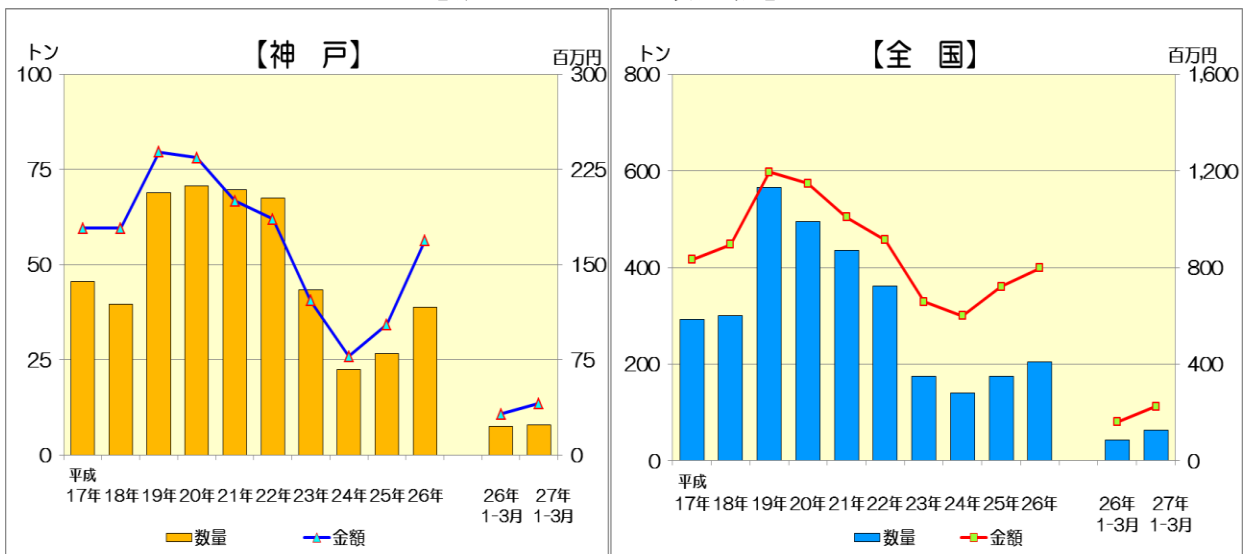
注) 本稿の「焼き海苔・味付け海苔」は、輸出統計品目番号2106.90-100の「焼きのり及び味つけのり」を指します。



1. 輸出の動向

平成26年における輸出実績は、神戸港では、数量39トン（前年比146.1%）、金額169百万円（同164.6%）、全国では、数量205トン（同117.7%）、金額798百万円（同110.8%）になりました。

【輸出数量・金額推移】

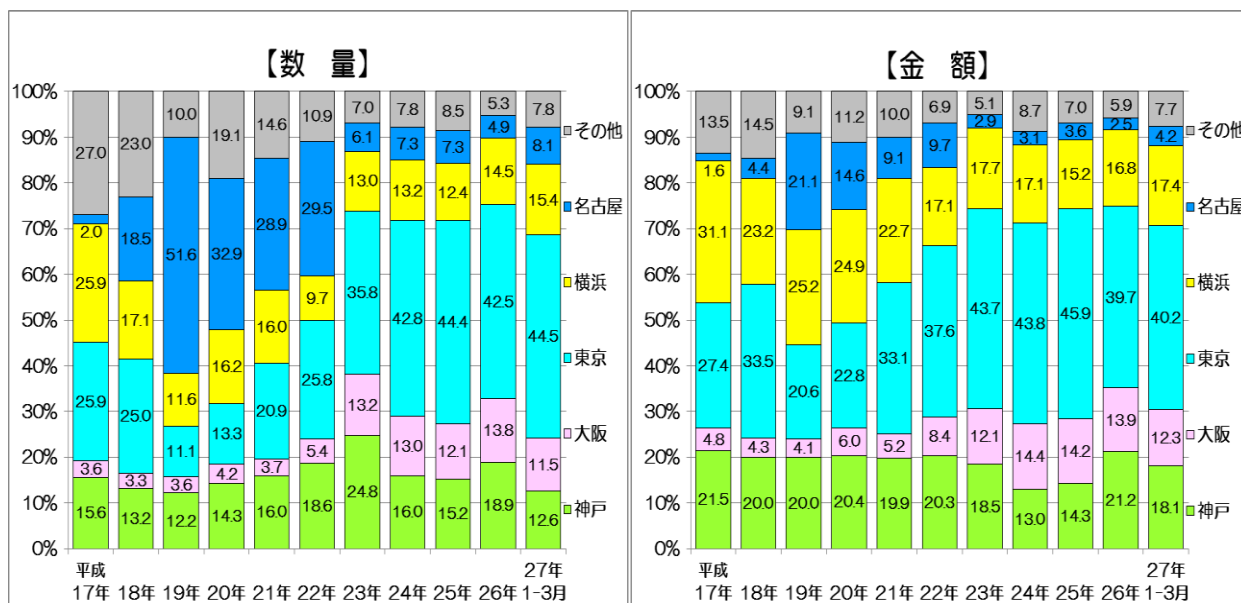


過去10年の数量の推移を見ると、平成19年の大幅な増加以降は減少傾向に推移し、平成23年に起きた東日本大震災の影響により大きな打撃を受けましたが、平成25年には増加に転じ、2年連続の増加となりました。平成19年に大幅に増加している一つの要因は、生育条件に恵まれノリの収穫量が多かったことが考えられます。

2. 港別の動向

平成26年の神戸港の全国シェアは、数量ベースでは18.9%、金額ベースでは21.2%となっており、前年から数量で3.7ポイント、金額で6.9ポイント拡大しています。

【港別構成比】



過去10年の推移を見ると、港別の動向では、増減はありますが、ここ数年は5つの主要な港で全体の9割強を占めています。

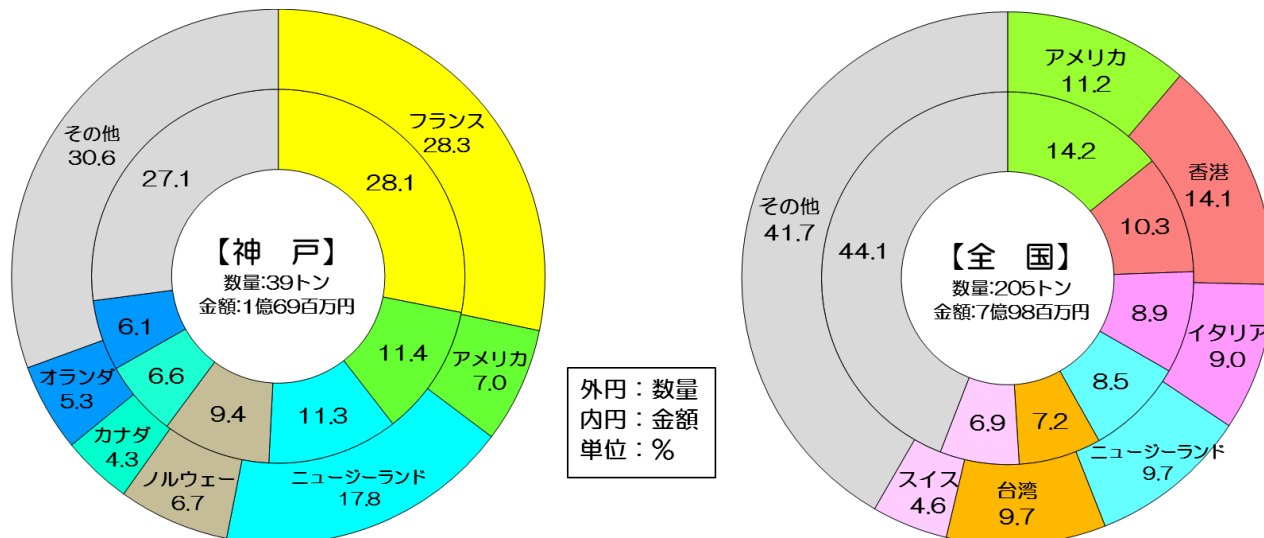
平成15年には、数量・価格とも最大の輸出港であった神戸港ですが、最大の相手国であったアメリカが減少傾向に推移したことにより全国シェアが低下した一方で、東京港がシェアを拡大し、現在では全国の4割を超え、トップで推移しています。

東京港で増加が見られる理由として、関東に海苔を扱う商社や物流センターなどが多いことが考えられます。

3. 輸出相手国・地域の動向

平成26年の主な輸出相手国・地域は、神戸港ではフランス、アメリカ、ニュージーランド、全国ではアメリカ、香港、イタリアとなっています。西歐向けが神戸港では数量で前年比2.8倍、金額で同2.4倍になりました。

【国別構成比（平成26年）】



4. おわりに

平成 25 年に和食（日本人の伝統的な食文化）がユネスコの無形文化遺産に登録されてから、和食に対する国内外の関心が高くなってきており、日本の伝統的食文化のひとつである海苔も、海外での和食ブームが追い風となって輸出が伸びています。

世界 44 カ国（神戸港は 25 カ国）に向けて輸出される海苔の多くは、巻き寿司（スシロール）用の焼き海苔で、お寿司屋さんやラーメン屋さんなどの日本食レストランや、スーパーで設けられた寿司コーナーで使われています。また、梅、わさび味などおつまみ感覚で食べられるスナック海苔も人気があるそうです。

日本国内に目を向けると、最近「おにぎらず」なるものを見かけます。作り方は、全形サイズ（21 cm×19 cm）の海苔を使って、ごはんと具を“にぎらず”に、包んで作るのだそうです。手軽に簡単に作れるうえに美味しいということで人気上昇中で、簡単なレシピも多く紹介されていますよ。

海苔は産地や養殖の方法によってしっかりとした海苔、やわらかい海苔といった特徴があり、例えば、しっかりとした海苔は巻き寿司に、やわらかい海苔は手巻き寿司や食べる直前に巻くおにぎりに適しているそうです。

業界の話では、「海苔の生産量は生産者の減少やノリの生息環境、生育状況にも左右されるため以前のような収穫量は望めないが、幾重もの検査を経て品質が追求される日本の海苔は、海外でも安心・安全な海苔として広く認知されているため、今後も和食ブームに乗って海苔の需要は増えていくだろう。」とのことでした。



本資料を転載するときは「神戸税関」の資料による旨を注記して下さい。

なお、本資料のお問合せは、

神戸税関調査部調査統計課

TEL (078) 333-3065 またはメールアドレス kobe-toukei@customs.go.jp まで

「神戸税関ホームページ」のアドレス <http://www.customs.go.jp/kobe/>



海苔の雑学

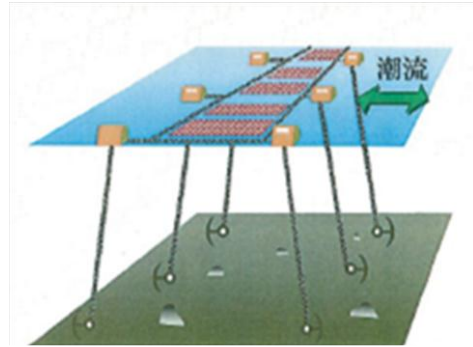


海苔はどうやって作られるのでしょうか？

焼き海苔や味付け海苔に加工される前の乾（ほし）海苔の大半は、現在、養殖によって生産されています。産地は主に有明海や瀬戸内海で全国生産量の約9割を占めています。海苔養殖は次の二つの方法があります。

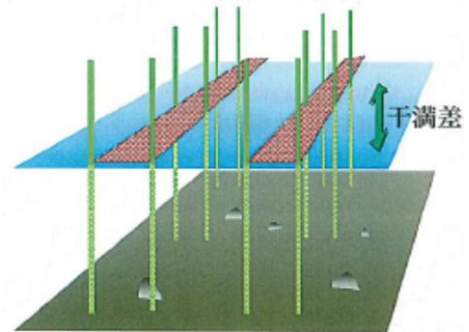
●浮き流し式養殖

この方法は水深の深い漁場で、浮きに網を固定して潮流を利用する方法。潮流により栄養分は常に豊富に保たれ、潮流にもまれることにより、しっかりとした海苔ができます。兵庫県などの瀬戸内海で盛んな養殖方法で、主に「巻き寿司用」に使われています。



●支柱式養殖

昔ながらの養殖方法で、水深の浅い漁場で竹などの支柱で網を固定して干満の差を利用する方法。干潮時にはノリは海面から露出し、太陽の光をたくさん浴びて成長が促されます。干潟で有名な有明海で盛んな養殖方法で、やわらかい海苔ができます。コンビニエンスストアでおなじみの、食べる直前に巻いてパリッとした食感を楽しむ「おにぎり用」によく使われています。



このように、海苔はその産地や養殖方法によってそれぞれ適した用途があります。スーパーで海苔を購入するときは、是非産地をチェックしてから食べ比べてみてください。

（資料提供：兵庫県漁業協同組合連合会）

おにぎりは、焼き海苔派？ 味付け海苔派？

味付け海苔は、明治天皇の京都御所へのお土産用に、明治2年（1869年）、東京日本橋の山本海苔店の二代目山本徳治郎が苦心創案したとされており、その後大衆化されて庶民にも広まり、関西地方で人気を博したと言われています。

コンビニエンスストアのおにぎりなど一般的には焼き海苔が主流ですが、関西では断然味付け海苔派が多いようです。

海苔文化が古くから栄えた関東では「焼き海苔」の香ばしい味が好まれ、関西では「味付け海苔」の砂糖醤油の甘みと海苔の風味が混じりあった独特の味を楽しむという、東西で異なった海苔の食文化があるようです。

（協力：株式会社山本海苔店、参考文献：「海苔」法政大学出版局出版）

数値表

* 輸出実績推移

年	神戸港						全国					
	数量(トン)		金額(百万円)			通関単価 円/KG	数量(トン)		金額(百万円)			通関単価 円/KG
	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比		全国比	前年比	全国比			
平成17年	46	107.3%	15.6%	179	94.4%	21.5%	3,916.6	293	146.3%	833	114.9%	2,844.3
平成18年	40	86.6%	13.2%	179	100.0%	20.0%	4,522.2	300	102.5%	895	107.5%	2,983.8
平成19年	69	174.0%	12.2%	239	133.4%	20.0%	3,467.2	566	188.6%	1,194	133.4%	2,110.6
平成20年	71	102.6%	14.3%	234	98.2%	20.4%	3,318.0	495	87.4%	1,148	96.1%	2,321.9
平成21年	70	98.6%	16.0%	200	85.4%	19.9%	2,875.1	435	88.0%	1,008	87.8%	2,316.8
平成22年	68	96.9%	18.6%	186	92.8%	20.3%	2,752.7	362	83.2%	914	90.7%	2,523.6
平成23年	43	64.3%	24.8%	122	65.4%	18.5%	2,802.8	175	48.3%	657	71.9%	3,760.3
平成24年	22	51.8%	16.0%	78	63.9%	13.0%	3,454.1	141	80.5%	600	91.2%	4,260.9
平成25年	27	118.2%	15.2%	103	132.4%	14.3%	3,868.9	174	123.9%	720	120.1%	4,130.4
平成26年	39	146.1%	18.9%	169	164.6%	21.2%	4,358.9	205	117.7%	798	110.8%	3,889.8
平成26年1-3月	7	149.0%	17.3%	32	167.3%	20.2%	4,341.1	43	119.0%	160	105.0%	3,717.8
平成27年1-3月	8	106.3%	12.6%	41	125.4%	18.1%	5,119.9	63	145.6%	224	139.7%	3,567.0

* 港別輸出実績推移

数量(トン)	全国	神戸		大阪		東京		横浜		名古屋		その他	
		前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比
平成17年	293	46	15.6%	10	3.6%	76	25.9%	76	25.9%	6	2.0%	79	27.0%
平成18年	300	40	13.2%	10	3.3%	75	25.0%	51	17.1%	55	18.5%	69	23.0%
平成19年	566	69	12.2%	20	3.6%	63	11.1%	66	11.6%	292	51.6%	56	10.0%
平成20年	495	71	14.3%	21	4.2%	66	13.3%	80	16.2%	163	32.9%	95	19.1%
平成21年	435	70	16.0%	16	3.7%	91	20.9%	70	16.0%	126	28.9%	63	14.6%
平成22年	362	68	18.6%	20	5.4%	93	25.8%	35	9.7%	107	29.5%	39	10.9%
平成23年	175	43	24.8%	23	13.2%	63	35.8%	23	13.0%	11	6.1%	12	7.0%
平成24年	141	22	16.0%	18	13.0%	60	42.8%	19	13.2%	10	7.3%	11	7.8%
平成25年	174	27	15.2%	21	12.1%	77	44.4%	22	12.4%	13	7.3%	15	8.5%
平成26年	205	39	18.9%	28	13.8%	87	42.5%	30	14.5%	10	4.9%	11	5.3%
平成27年1-3月	63	8	12.6%	7	11.5%	28	44.5%	10	15.4%	5	8.1%	5	7.8%

金額(百万円)	全国	神戸		大阪		東京		横浜		名古屋		その他	
		前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比	前年比	全国比
平成17年	833	179	21.5%	40	4.8%	228	27.4%	259	31.1%	14	1.6%	113	13.5%
平成18年	895	179	20.0%	38	4.3%	300	33.5%	208	23.2%	40	4.4%	130	14.5%
平成19年	1,194	239	20.0%	49	4.1%	246	20.6%	301	25.2%	252	21.1%	109	9.1%
平成20年	1,148	234	20.4%	69	6.0%	262	22.8%	286	24.9%	168	14.6%	128	11.2%
平成21年	1,008	200	19.9%	53	5.2%	333	33.1%	229	22.7%	92	9.1%	101	10.0%
平成22年	914	186	20.3%	77	8.4%	344	37.6%	156	17.1%	89	9.7%	63	6.9%
平成23年	657	122	18.5%	80	12.1%	287	43.7%	116	17.7%	19	2.9%	34	5.1%
平成24年	600	78	13.0%	87	14.4%	263	43.8%	102	17.1%	18	3.1%	52	8.7%
平成25年	720	103	14.3%	102	14.2%	330	45.9%	109	15.2%	26	3.6%	50	7.0%
平成26年	798	169	21.2%	111	13.9%	317	39.7%	134	16.8%	20	2.5%	47	5.9%
平成27年1-3月	224	41	18.1%	28	12.3%	90	40.2%	39	17.4%	9	4.2%	17	7.7%

* 国別輸出実績 (平成26年)

神戸	国名	数量(トン)			金額(百万円)		
		前年比	構成比	前年比	構成比		
	全世界	39	146.1%	100.0%	169	164.6%	100.0%
	フランス	11	3.4倍	28.3%	48	2.5倍	28.1%
	アメリカ合衆国	3	131.9%	7.0%	19	2.1倍	11.4%
	ニュージーランド	7	79.2%	17.8%	19	85.0%	11.3%
	ノルウェー	3	全増	6.7%	16	全増	9.4%
	カナダ	2	99.0%	4.3%	11	90.6%	6.6%
	オランダ	2	115.0%	5.3%	10	116.6%	6.1%
	その他	12	130.3%	30.6%	46	147.9%	27.1%

全国	国名	数量(トン)			金額(百万円)		
		前年比	構成比	前年比	構成比		
	全世界	205	117.7%	100.0%	798	110.8%	100.0%
	アメリカ合衆国	23	155.6%	11.2%	113	141.6%	14.2%
	香港	29	147.3%	14.1%	82	134.0%	10.3%
	イタリア	18	76.9%	9.0%	71	67.9%	8.9%
	ニュージーランド	20	96.2%	9.7%	68	87.8%	8.5%
	台湾	20	98.2%	9.7%	57	104.5%	7.2%
	スイス	9	100.4%	4.6%	55	94.5%	6.9%
	その他	85	130.3%	41.7%	352	123.6%	44.1%